

## 強害雑草 ギシギシの防除方法

**ギシギシ**(タデ科) *Rumex japonicus*

### 特徴

- 草地に甚大な雑草害をおよぼすタデ科の多年草。最終番草を刈り終えた11月から冬期に株の栄養生長、生殖生長が盛んになる。
- 1株当たり約2万粒の種子を形成する。
- 種子と根茎の両方により繁殖する。
- ギシギシの種子は登熟後すぐには発芽せず、休眠性する。落下種子の防除には10年以上の注意が必要。発芽条件が整い次第、除々に発芽するため、一年では絶滅しない。
- 草地更新に伴う耕起によって、切断された根茎から容易に再生し、繁殖する。



### ☆ギシギシの防除が困難な点

1株当たりの種子生産力および発芽率が高く、休眠性をもつ。



一旦少数でも定着して一年間放っておくと爆発的に増加する。

種子または根茎で発芽。深さ30cmに埋没しても発芽可能。



更新する際プラウやロータリでの根絶は不可能。逆に根茎が拡散し、増殖の原因となる。



このことから...

**ギシギシを発見した場合、**

**早急かつ適切な防除対策が必要となる。**

### ☆ギシギシの増殖を抑えるための基本的な対策法として

- 草地に種子を落とさない。  
(花穂は早めに摘み取る。ディスクモア等の使用後は、残草を回収するなど)
- 完全に根絶してから草地の更新を行う。
- 一度発生したら、除草剤を散布するか人力で根茎ごと完全に引き抜く。

# 除草剤を使用して除去する場合

## ☆新しく造成・更新する草地への除草剤散布

ギシギシが繁茂している時には、

- 選択性除草剤のDPX水和剤(商品名:ハーモニー)やMDBA液剤(商品名:バンベル-D)を全面散布して防除する。
- 牧草の播種時に播種量を多くし、牧草の発生密度を高め、その競合力でギシギシの実生の発生と生育を抑制する。
- 牧草の播種1月後、ギシギシの生育が早い場合は掃除刈りを行い、生育を抑制する。

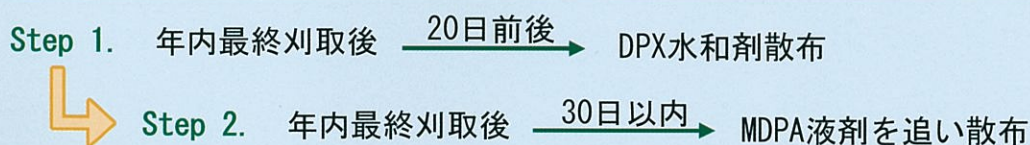
## ☆経年草地の除草剤散布

### ①除草剤の調製

- MDBA液剤 : 有効成分として50%含有。  
10アール当たり水100Lに現物品100ml (1000倍希釈)。
- DPX水和剤 : 有効成分として75%含有。  
10アール当たり水100Lに現物品5g (20000倍希釈)。

### ②除草剤散布方法と散布時期

※DPX水和剤とMDBA液剤を組み合わせた雑草防除が有効です。



**2年間継続して除草剤散布するとさらに効果的！！**

※除草剤を使用の際は、使用上の注意を十分に確認の上、ご使用ください。

**MDBA液剤** (使用は**年1回のみ**) :

秋期最終刈取後30日以内に散布し、翌年の1番草刈りまでの間は放牧や採草は行わない。

※**DPX水和剤**(使用は**年1回のみ**) :

刈取後2～4週間頃に散布する。ただし、採草21日前までに散布する。

※DPX水和剤はアミノ酸合成阻害、MDBA液剤は光合成阻害等、植物だけが持っている働きに作用するので人畜に対して安全性が高いとされている。

※農薬を全面に散布しても、イネ科牧草の生育は変わらない。

## 除草剤の散布法と効果



### ギンギシが多発している場合

背丈10~40cm程度になったら、  
動噴等を利用して、一斉に選択  
性除草剤を散布する。



### 部分的に繁茂している場合

出穂前に手持ち散布機で  
選択性除草剤をスポット  
散布する。

選択性除草剤使用前



選択性除草剤使用1週間後  
(ゆっくりと枯死していきます)



※農薬を全面散布すると、一年で半減し、二年後にはほぼ絶滅するので  
最低二年間は散布を続ける。

(ギンギシの種子は休眠性をもち、一年では絶滅しない。)

※ギンギシの生態やDPX水和剤、MDBA液剤による除草剤散布効果についての研究は、下記の文献が参考になります。

沖縄県畜産試験場研究報告(沖縄県畜産研究センター発行)

第30号(1992)、第33号(1995)、第36号(1998)、第37号(1999)、第39号(2001)

# 人力で除去する場合

## ～「草取耕平」の紹介～



地中に残った根

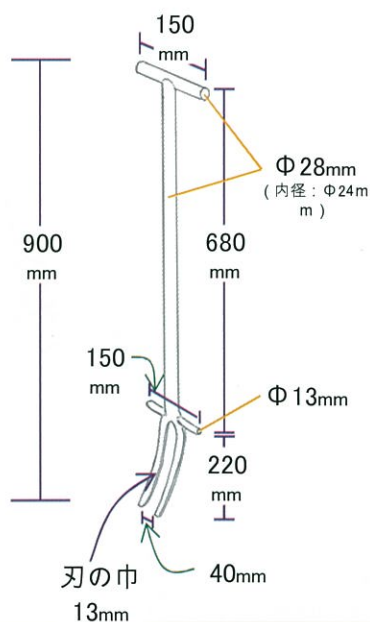
ギシギシは手で抜こうとしても根の途中で切れやすく、しばらくすると、残った根(左写真)から再生してきます。

また、シャベル等で掘り起こすとなると時間と労力を浪費します。

そこで畜産研究センターでは、少ない労力で、ギシギシをねこそぎ取れる農機具の開発に成功しました！

その名も「草取耕平」である。

### 「草取耕平」の設計規格



※「草取耕平」の先端(刃先)の二股部分は、耐久性と弾力性に優れる自動車用サスペンションで使われている板バネを使用しています。



写真 左 : 全体  
右上 : 前面  
右下 : 側面

☆草取耕平君はギシギシ以外の雑草の除去にも効果を発揮します。

※この「草取耕平」は畜産研究センターで考案されたものであり、外部注文生産により製造しています。興味ある方は下記までお問い合わせ下さい。

### (( 使い方 ))



①ギシギシを見つける



②株の根元に挿す



③上部に体重をかけ、「てこ」の原理で引き抜く



④ギシギシでもこのとおり！

### ●問い合わせ●

## 沖縄県畜産研究センター 育種改良班

〒905-0426 沖縄県国頭郡今帰仁村字諸志2009-5

電話 : 0980-56-5142 FAX : 0980-56-4803